

平成28年度 第2回櫛引地域振興懇談会 (会議録・概要)

○日 時：平成29年3月15日(水) 午後3時00分から午後4時50分まで

○会 場：黒川能の里 王祇会館

○出席者：敬称略

(出席委員) 成田 勇、成田新一、小林良市、佐藤正幸、清和ふみ子、長南光、  
重松美鈴、宮城良太

(欠席委員) 木村英俊、武田啓之、遠藤勉、成田靖、上野由部、佐藤治郎作、秋山篤司

(市側) 櫛引庁舎支所長 榊原賢一、総務企画課長 佐藤浩、市民福祉課長 天然せつ、  
産業課長 宮崎哲、建設部南部建設事務室長 上野衛、  
企画部地域振興課地域振興専門員 本間育子、  
櫛引庁舎総務企画課総務地域振興専門員 大宮将義

一次 第一

1 開 会

2 あいさつ

3 協 議

(1) 櫛引庁舎重点施策について

4 そ の 他

5 閉 会

.....

(委嘱状交付)

1. 開会

総務企画課長

—省略—

2. あいさつ

会長

皆様、大変ご苦勞様です。今日はよろしくお願ひいたします。先日、鶴岡市総合計画審議会があり出席しましたが、その時に、ここ櫛引地域で出されました意見、課題を私なりにまとめて発言させてもらいました。ひとつは人口減少が厳しく、黒川能など伝統芸能の後継者がいないことが第1点。また農業の後継者がいないため、地域の元気がないこと。そして、高校生が卒業して進学などで都会に行っても、優秀な人材が戻ってこない。Uターンのための魅力的な職場を作る必要があるのではないかと。特に女性が戻ってこない。婚活事業をしても男性3に対して女性1という状況であり、非常に厳しい。このようなことをお話ししてきましたが、今日は様々なお立場の委員が出席ですので、様々なご意見を出していただきご議論していただければ幸いです。よろしくお願いいたします。

櫛引庁舎支所長

皆様こんにちは。本日は年度末を控え、公私ともに何かとご多忙のところお集まりいただきありがとうございます。委員の皆様には日頃より市政各般にわたり、ご理解ご協力をいただきまして、厚く御礼を申し上げます。

今回、委員の交代で、委嘱状を交付させていただきました体育協会会長の佐藤正幸様には、残任期間わずかですがどうぞよろしくお願いいたします。

さて、前回11月の懇談会では市総合計画実施計画についてご意見を頂戴しました。その後、市総合計画審議会で協議いただき、そして市議会では来週22日の議員全員協議会での説明・協議を経て、計画の公表となります。市政全般にわたりご意見をいただきまして、有難うございました。

また、本日の懇談会では、平成29年度の櫛引庁舎重点施策について説明させていただき、ご意見を頂戴したいと思います。なお、来年度予算について、開会中の議会3月定例会で審議中であることから、具体的な金額を明示できない部分もありますので、ご了承願います。委員の皆様それぞれの立場から忌憚のないご意見を頂戴し、櫛引地域の活性化や振興施策に反映させてまいりたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

27年度から設置したこの地域振興懇談会の委員の任期はこの3月末を持って一区切りとなりますけれども、皆様からお力添えをいただきましたことに心から御礼申し上げますとともに、今日の懇談会を含め、今後ともご支援・ご協力賜りますようお願い申し上げます、開会にあたっての挨拶とさせていただきます。本日はどうぞよろしくお願いいたします。

### 3. 協議

#### (1) 櫛引庁舎重点施策について

総務企画課長

それでは協議に移りたいと思いますが、あらかじめ事前送付させていただきました資料によりまして、進めたいと思います。なお、設置要綱に基づきまして、会長から座長を務めていただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

会長

(1) 櫛引地域重点施策について、事務局の説明をお願いします。

説明（支所長～総務企画課長～産業課長～市民福祉課長 15:13～15:38）

資料1

—略—

会長

感想やご意見があればぜひお願いします。

A委員

庄内たがわ農協で話題となるのは、米価の下落に対して園芸振興施策等で補うことを進めているが、6次産業化などの補助金交付や報告について、もっと簡素化ができないかということである。

地域の繋がりという視点では、私はたらのきだい公民館長をしているが、雪上運動会を開催すると80人が参加してくれる。地域が賑わう取組みは、今後も続けていきたい。

B委員

観光協会の立場で意見を述べたい。櫛引では歴史と文化を標榜しているが、「地域の活性

化に資する」という視点では総務企画部門と観光部門がもっと連携していかないといけないのではないか。黒川能について、春日神社の信仰による伝統芸能の継承は素晴らしいということ、観光で来た外部の方から教えられる。外部から評価される観光の視点が重要であり、その成功例は蠟燭能だと思う。ぜひ歴史と文化の里整備にぜひ観光の視点を入れてもらいたい。あと、歴史と文化は金にならないが、経済効果が得られるような仕組みを構築できないかと思っている。

2つ目は、櫛引地域の観光振興について、鶴岡市全域の施策と連動していくことが重要だと思う。市全体では出羽三山などの歴史遺産、ユネスコ食文化創造都市、先端生命科学研究所が先導する学術都市、この3点が大きな施策である。ぜひ櫛引地域も市全域の観光振興と結びつくような取組みが必要と思う。

3つ目は、大河ドラマの舞台となったところは経済的に潤っている。現在の「直虎」は徳川四天王の酒井家に通じる。来年度の「西郷どん」で庄内藩も関連するし、新徴組も出てくる。鶴岡市では積極的に活用しようとする意気込みが見えてこない。また、酒井家入部400年は5年後にあたり、そういう取組みも入れてもらいたい。

世界観光ガイド会議も開かれるので、ぜひ櫛引地域だけが蚊帳の外とならないように仕掛けをしてほしいと思う。

#### C委員

体育協会の立場で述べたい。たらのきだいスキー場は行革の対象となっているが、今後どうなっていくのか気になっている。ぜひ体育振興の立場で再検討してもらいたい。

また、中学校グラウンドの夜間照明設備だが、照度が低く、利用できるスポーツが限られる。ぜひとも改善願いたい。

#### D委員

フルーツの里づくりについて、櫛引のフルーツのブランド化を進めて庄内、山形を発信していったらどうか。庄内のさくらんぼ観光農園について、昔より認知度が上がってきているのが実感であるが、もっと露出をしたほうがよいのではないか。

#### E委員

フルーツの里づくりという視点だが、産直あぐりの組合員などは個々がライバルではなく、皆がレベルアップに繋がるような形になればいいと思っている。先進地視察をしても、その情報を共有できればレベルアップに繋がる。たとえば贈答用でさくらんぼは喜ばれるが、先進地の取組みを共有できればいいと思っている。

都会のリッチ層では飛行機で庄内に来て、美味しいものを食べて帰るというケースがある。食というブランドを生かして、都会への売り込みをしていければよいのではないか。

農業委員をしていると担い手が少なくなっていることを感じるが、圃地の集約など仕組みがあれば良いと思う。

#### F委員

農家民宿をして20年が過ぎた。民宿には全国から色んなお客さんが来るが、大変だったけどやって良かったと思う。それは色んな人と出会えて、非日常のことを教えてもらい、視野が広がったということ。農村は仕事がないという暗いイメージがあるが、仕事がないのを嘆くよりも、仕事を生むという視点を替えると楽しくなるのではないか。楽しいと若

者が来ると思う。

人口減少によるインバウンド効果を狙って外国人旅行客を迎えるには英語を話さないといけないと言われるが、たとえ英語が話せなくても、いやな顔をせず笑顔で接すると何とかなる。この前、イギリス人と英語を話せなくても何とか接することができた。英会話の習得について難しく考えないで、いいのではないか。

## G 委員

こころの健康づくりサポーターについてどのようなことをしているのか。また、要援護者のマップとあるが、これはすでに作成済みなのか。そのあたりを教えてもらいたい。

## 市民福祉課長

はじめに、こころの健康づくりサポーターだが、重点地域の指定を受けて、様々な研修を行っている。病気に対して知識、理解を深めてもらい、そういう方々が増えると病気を持っていても地域で暮らしやすくなるということが目的であり、地域にとって重要だと思っている。また、相談する窓口があると分かってもらうことも大切である。

要援護者マップは、民生児童委員協議会が自発的に平成20年頃から取組んでおり、区長と民生委員がマップを持っている。地域全体のは総務企画課と消防分署で所有している。リストに登載されている方への確認を毎年することで、地域とのつながりが見えてくるものだと思う。ただ、この有効活用については、これから考えていく余地はあると思う。

## 産業課長

1つ目。これからの米価についてだが、昔のように米価が上がる時代がくるとは想定できない。これから米だけでなく産地交付金等を活用した園芸振興、米以外に収入を得ることが重要と考えるので、引き続きご支援をお願いしたい。

歴史文化と観光を絡めた施策の検討については、日本遺産といった制度にみられる様に、文化財、地域の伝統芸能が見直されており、今後は地域活性化としての資源活用として横断的な連携が重要だと思っている。

昭和54年に開設した、たらのきだいスキー場について、スキー人口が今後増える見込みは厳しいが、多様な魅力付けによっていかに足を運んでもらうかという営業の工夫は重要と感じている。具体的に何をするか決まっていないが、新たな事業を構築していきたい。

観光農園、ブランド化については、もっと自信を持ってPRしていきたい。観光農園へのPRもなるべく露出度が高くなるような施策を考えていきたい。

産直あぐりの組合員の情報共有の件については、フルーツの里ブランド化支援事業による研修会、地元の農業者関係者との意見交換をしたり、そういう場を今後も提供していきたい。園地の集約についても、必ずしも圃場整備によらずとも促進できないか、検討していきたい。

農家民宿について、まさに櫛引はホスピタリティ、おもてなしの心が昔から進んでいるのではないかと。黒川能、王祇祭でも以前から外来の方を民泊させたり、おもてなしの心があつた。すでに黒川能の里の会で取組みを進めているので、今後ともご指導いただきたい。

## 会長

産業課が重要なウエイトを占めているので、よろしく願います。中学校の夜間照明については、総務企画課長は何かわかりますか。

総務企画課長

中学校の夜間照明について、以前は地域審議会でも質問されていた。屋外照度は他の施設と比べ、暗くないと答弁したと記憶しているが、後程確認したい。

会長

総務企画課と産業課の横の連携があると、とてもよい展望が見えてくると思う。何か支所長、総括的に何かありますか。

櫛引庁舎支所長

櫛引地域の住民が地元に対して誇りを持つことが大切であり、委員の発言にもあったが、楽しむということ、外から来た方に笑顔で接するということが地域振興にとっても重要な視点だと思う。市総合計画の後期基本計画は平成26～30年度までの計画であり、来年度から2年かけて次期計画の策定作業に入る予定となっている。この度の意見も踏まえながら、次の地域振興計画を策定していきたい。

会長

以上で懇談会の協議を終了します。

4. その他

5. 閉会

総務企画課長

－省略－